

12月定例会

個人質問

藏本 隆文議員

バイオエネルギー
政策について

今後の公共交通について

取ルールの確立、プラント設置に係る場所や費用の問題等もあり、これらをクリアした後にこうした取組を検討したい。

効率的、安定的な路線維持を図ることができると考えている。

②路線やダイヤの都合上、通勤で利用可能な職員は限定されるが、できるだけ路線バスの利用を呼びかけて

②現時点では考えてないが、今後さらに人づくり、まちづくりを進めていくには、生涯学習課だけでなく、各種関係団体と連携し取り組む必要があると考えている。

②現時点では考えてないが、今後さらに人づくり、まちづくりによる地域の活性化を図ることを考えている。



議員 今後の方向性として廃棄物の減量化、それに伴う焼却による二酸化炭素の排出削減、環境保全、新エネルギーの観点からの総合的解決として、家庭食品廃棄物等と、干拓地の牛ふん等を利用したバイオマスエネルギー政策で総合的な解決を行うことができないのかたずねる。

市長 家庭生ごみの分別回

議員 ①今後公共交通を維持するためにはどのような方法があるかたずねる。

②路線存続の市民要望があつてもバス利用の協力がない限り同じことの繰り返しになると考えられるが、それについて、職員のバス利用の考えをたずねる。

③今後の公共交通のあり方についての計画をたずねる。

馬越 裕正議員
組織改革と人事政策について

議員 ①定住促進センター



定住促進センター

議員 ①民間事業者の運行、公営バスとしての運行、コミュニティバス等の運行委託等があるが、本市では、負担の大きい設備投資部分を市が負担または確保し、民間事業者がこれを活用し運行する、という方法を検討している。これにより、民間事業者が運行に専念でき、

議員 文化による地域活性化について

議員 文化による地域活性化が今後重要なことと思うが市長の考えをたずねる。

市長 地域に暮らしている人が自らの地域を知り、誇り、愛着を持つことができ

農業政策について

議員 ①現状把握と今後の対策についてたずねる。

市長 ①農家の高齢化と後継者不足の問題があり、今後も農業後継者や新規就農希望者の育成に向け、県補助制度等を最大限に活用し、就農者支援を図っていく。

②イノシシ等による農作物への被害が増加する傾向にあり、対策として防護柵設置等に努めている。また今後、市職員によるわな猟免許の取得も考えている。

農業政策について

議員 ①現状把握と今後の対策についてたずねる。

市長 ①定住推進の重点施策を展開するためには中・長期的なスパンで取り組む必要があり、当面は現在の体制で取り組んでいきたい。

議員 定住促進事業の現状と今後について

大本 益之議員